

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和2年度第2回図書館協議会
開催日時	令和3年2月19日(金) 13時30分開会 15時30分閉会
場所	佐渡市立中央図書館 2階講座室
議題	(1)佐渡市図書館ビジョン事業実施計画 評価について (2)令和2年度図書館運営状況等について ①新型コロナウイルス感染拡大防止への対応 ②来館者状況等について (3)防災拠点庁舎整備とさわた図書館について (4)その他
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	○ 佐渡市図書館協議会委員 会 長 木村 和夫 副会長 関根 良子 委 員 大橋 幸喜 瀧川 紀子 小松美知乃 大屋 柳平 ○ 事務局(教育委員会 社会教育課 中央図書館) 教育長 渡邊 尚人 課長補佐 柳澤 正二 館 長 源田 俊夫 係 長 中濱 智子 主 事 本間 春菜
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	1人
備考	—

会議の概要 (発言の要旨)	
発言者	議題・発言・結果等
木村会長	1. 開会 開会の挨拶

事務局	<p>2. 議題 (1)佐渡市立図書館ビジョン事業実施計画 評価について 資料説明</p>
木村会長	<p>図書館ビジョンをまとめる際に、1,100人ほどにアンケートをとり、集計にも携わりましたが、今の時代が求めているデジタル化という答えが気になりました。佐渡の芸能・歴史の映像はDVDになっていません。貸出して使えるのか、劣化の問題もあり、いいものがあったとしても利用できません。佐渡博物館と連携をとっていくことはできませんか？</p>
源田館長	<p>デジタル化の部分はこのあと進めていきたいです。持っている資料の活用など、少しずつでも博物館と連携をとれていければと考えています。</p>
瀧川委員	<p>コロナ禍でできなかった事業もあって、それをどう評価するのかという部分もあります。今まで普通にできていたこと、子ども達が図書館に集まることが制限されてしまったときに、全てがゼロになるのではなく、何ができるのかを考え、昔ながらの紙芝居を、距離を置いて実施したり、モニターを使って読み聞かせをしたりなど、工夫して活動を続けてきました。本だけ並べていても子ども達は興味を示しません。人が入ってアクションを起こせば手にとって広がります。それをこの1年で経験しました。評価としてはBかもしれない、行動に移せなかったから評価が低いかもしれませんが、Aじゃなかったと思わずに、来年度は今できなかったことを繋げていきたいなと思います。</p>
木村会長	<p>本に関するボランティアは学校にどのくらいの方がいますか。そしてどのような形でやっているのですか。</p>
大屋委員	<p>本校は読み聞かせボランティアの方に来ていただいて、大型テレビのところに来て頂き、本を映し距離を置いて読み聞かせを実施しています。残念ながら警報が出た関係もあり3学期は中断しています。</p>
木村会長	<p>ただ本を読むのと、読み聞かせしてもらい活字を追っていくのは違いますよね。</p>
瀧川委員	<p>全然違います。小学校で、昨年度図書ボランティアをされていた方々に善意で紙芝居枠を購入していただき、木枠に入れて紙芝居を</p>

	<p>やることができました。工夫しながらみな頑張っていてやっています。</p>
小松委員	<p>今の話で紙芝居の枠について。大工に枠を作ってもらいました。今は相川で、持ち回りで紙芝居をやってくれているのではないかと思います。大変好評でした。</p>
小松委員	<p>小学校、保育園で読み聞かせを実施していますが、小学校は1年から6年まで幅が広いです。グループに分けるのか、全校生徒でまとめて聞くのか、どちらでしょう。</p>
大屋委員	<p>本校は、低学年の頻度が多いです。ボランティアの方に本の選定はしてもらっています。高学年は低学年に比べると回数は少ないが、なるべく全学年に実施しています。</p>
小松委員	<p>保育園や小学校から読み聞かせの依頼があれば行きたいのですが、中々依頼がありません。高千という地域で依頼があるものなのでしょうか。保育園や小学校に読み聞かせしてくれるボランティアがいるよ、とこちらのほうで働きかけをしてくれているのですか。</p>
中濱係長	<p>たかち保育園は毎月1回、移動図書館車で回らせていただいています。本を届けるのと同時に、読み聞かせを図書館職員がさせていただきます。今年度についてはコロナの影響もあるので、学校側が「外部の方はご遠慮いただいております。」となった時期もあります。逆にいつも読み聞かせをしていただいているボランティアの方が、自分が学校などに出向いて感染させてはいけないとお断りされて、なかなか機会が持てなかったというのは伺っています。ブックスタートを今までずっとやっていましたが、保健師から検診は必要最低限のスタッフで今年はやらせてほしいということで、本を保健師に預けて対象のお子さんに渡していただきました。</p>
小松委員	<p>ありがとうございます。コロナは終息が難しいですが、今までの普通の生活に戻れたら、いくらでも声をかけてください。</p>
大屋委員	<p>それぞれの地域における読み聞かせボランティアはどこに問い合わせをすればいいですか。学校は一般的には保護者にボランティアどうでしょうか、と投げかけることが早いので声をかけています。地域にも読み聞かせをしていただける方がいるのでしょうか。</p>
木村会長	<p>学校で総合的な学習の時間が始まる頃、地域にはこのような人がいますと人材リストを作りました。そのようなものがあれば人材が</p>

	<p>見つけにくいとなってもリストがあればいいのではないのでしょうか。</p>
中濱係長	<p>市のホームページに、人材バンクという制度が載っています。その中に読み聞かせしていただける人材を掲載しています。</p>
大屋委員	<p>コミュニティスクールで、これから放課後に学習支援を行います。体験型もやっていきたいと思っているので、人材バンクを活用していきたいと思います。</p>
瀧川委員	<p>ボランティアは学校の総会や地域の回覧板で募集の紙を出します。保護者は時間に余裕が無いことが多いですが、地域に密着されている方から申込みがあります。</p>
関根委員	<p>ビジョンにおけるデジタル化について。デジタル書籍はどんどん進んでいくのだらうなと思います。その流れで、視力が落ちているというのをテレビで見ました。デジタル化が進むのは当然ですが、視力が悪くなることに対して、読むときの注意を促していかなければならないのではないのでしょうか。</p> <p>デジタル化が進んでも、紙芝居など大人も子どももアナログなものに惹かれるところがあります。デジタルとアナログをうまくマッチさせていくのが大事だと思います。</p>
木村会長	<p>高齢者向けイベントが厳しいのではないのでしょうか。この年代の方々はそれぞれ自分と言うものを確立していて、テーマを絞って調べ物をしている人もいます。利用する割合も高いです。どのようなイベントをやったらいいのか、イベントにこだわらなくても、高齢者に対しての配慮にすれば評価が変わってくると思います。</p>
中濱係長	<p>高齢者の方を対象に集めてイベントを、と捉えてしまいましたが、実際考えているのは、公民館講座で高齢者向けのことぶき学級が定期的に行われていると思いますが、そのときに図書館のスタッフとお邪魔させていただくというものです。図書館はこんなところだと紹介を、と考えています。今年度はできなかったのを来年度以降に実施したいと思います。</p>
木村会長	<p>どうしても評価の「C」が目についてしまいます。取組をイベントの1つとして評価してほしいです。図書館職員が気付かないことも、要望からイベントにつながるかもしれません。</p>

事務局	(2)図書館運営状況について ①新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について 資料説明
瀧川委員	コロナの影響で本の貸出が10冊から期間を長くして20冊になったのが凄く助かったとの声がありました。
事務局	②貸出冊数、貸出人数、来館者数等について 資料説明
大橋委員	貸出冊数について。新穂図書室が増加している理由は何ですか？
中濱係長	小中学校の図書館担当の方が団体貸出をしてくださいました。コロナ禍でなかなか図書館(室)にいけない中、新しい本を学校に届けると児童、生徒、園児がとても喜んでくれます。もっと団体貸出に力を入れていかなくてはいけないな、と思いました。
大橋委員	他の学校にももう少しPRをしていただけたら、と思います。
事務局	(3)防災拠点庁舎整備とさわた図書館について 資料説明
大橋委員	議場に行った場合、今の場所からどれくらい広がりますか。
中濱係長	3階と2階の一部を使うので、10倍まではいかないが5倍くらいにはなると思います。
源田館長	今、詳しい資料を持ち合わせていないのですが、今までとは違った使い方はできます。
大橋委員	5倍くらいになるなら、とても広がるので整備して使ってほしいです。
瀧川委員	子どもは本を見るとき、本を持たずに床に置いて広げて見えています。さわた図書館では、たくさんの絵本があっても、親が中心になって選んでしまうことしかできません。広いスペースができるなら、子どもが靴を脱いで本を広げられる空間や、周囲を囲うなど、子どもたちの視線で本に集中できるような環境を作ってほしいです。
源田館長	図書館を考えるなかでも、ご意見があれば参考にさせていただきます。

大橋委員	<p>このくらいの面積がもらえる、ではなく、このくらいの面積がほしいと言ってほしいです。</p> <p>(4)その他</p>
源田館長	<p>第2次子ども読書活動推進計画を推進中です。第3次の叩き台をお示しし、ご審議いただいて作っていただければと思っていましたが、ただいま検討中でみなさんにお示しできません。平成28年度から、概ね5年の計画ということで、その実績の部分について翌年度に報告させていただいて確認してもらっています。図書館ビジョンができて、大きな柱にも位置づけされているので、そのあたりと踏まえながらももう少し検討する必要があります。</p>
木村会長	<p>図書館ビジョンより先に子ども読書活動推進計画を作ってしまったためにズレが生じてしまいました。中心としては図書館ビジョンがあります。子ども読書活動推進計画もきちんと評価もされているので、何もしていないわけではありませんが、今後どうしたらいいのか考えていかないといけないのではないのでしょうか。</p> <p>3. その他</p>
渡邊教育長	挨拶
各委員	挨拶
関根副会長	<p>4. 閉会</p> <p>閉会の挨拶</p>